

研究室名	<b>眞坂研究室 学会発表</b>
------	-------------------

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

発表時期	2018年
学会名	土木学会全国大会 第73回年次学術講演会
演題名	通勤社会実験から見た自転車・徒歩推進施策における情報通信システムの活用効果
発表者	帝京大学 眞坂 美江子、阿南工業高等専門学校 加藤 研二
内容	自転車・徒歩通勤社会実験に情報通信システムの導入し、システム導入効果を検証した。その結果、情報通信システムは、日頃から自転車・徒歩通勤をしている被験者にとって、システム導入の有無により大きな違いはなかったが、以前自転車徒歩通勤を実施したことがあるが、その後やめてしまった被験者にとって、導入効果が高く期待できることが明らかとなった。今回の実験により、情報通信システムを用いた継続的な働きかけの有効性が一部確認できたが、被験者にとって、有効な情報は一律ではないことが明らかとなった。

関連画像	<h3 style="color: #008000;">情報システム概要</h3>  <p>The diagram illustrates the information system workflow. It shows a smartphone on the left with a timer at 00:00. A speech bubble indicates: '自転車や徒歩で移動する際に、ボタンをクリック' (Click the button when moving by bicycle or on foot). A yellow arrow points from the smartphone to a desktop computer, with text: '情報は、すぐセンターに送信される' (Information is sent to the center immediately). A green arrow points from the computer to an envelope icon, with text: '一部の参加者には毎日定刻に、メールを送信' (Send email to some participants at a fixed time every day). A yellow arrow points from the envelope to another smartphone on the right showing 9:42. A speech bubble says: '継続アフローチ' (Continuous flow). Below this phone, text reads: 'キャリアメールを使うことで、メール受信をポップアップ通知' (Use carrier email to get pop-up notifications for email reception).</p>
------	---